



3日前に、今年就職したばかりのお姉ちゃんが夏休みを取って東京から帰ってきました。その日から「ラブに癒してもらおう」とか言って1日に何

回か撫でてくれますが、私も嬉しくて千切れんばかりにしっぽを振って体をスリスリしてしまいます。私がM家の家族になった時は小6だったのに今はもう社会人となった彼女は、お父さんの荒っぽいぐりぐり・ごりごりの感触と違って、とってもソフトなタッチでゆっくりと撫でてくれます。私とのスキンシップで彼女も癒され、私も癒される、一方通行でない両方がハッピーハッピーの関係こそがアニマルセラピーの原点だと思います。

ところで、人間族は犬を含め様々な動物をペットとして飼養していますが、なぜ動物を飼うことが人にとって「癒し」になるのでしょうか。私が飼い主の家族や私に触れようとしている人に対して、吠え付かないまでも「う～～」と低い声でうなったり、犬歯を見せて「それ以上近づかないで」と警告を発したりしたら、癒しどころか犬に近づくことで心拍数が上がり、緊張感を強いられることになってしまいます。この様な関係では、人にとって必ずしも「動物を飼うこと」＝「癒し効果を得ることができる」とはならないのです。人と一緒に生活している私たちがくつろいでいる状態、あるいは穏やかに過ごしている状態を見て、飼い主の家族や人間たちは初めて癒しを得ることができるのではないのでしょうか。

11歳の今、体力勝負が出来なくなった私の楽しみは多くの人間族とハッピーハッピーの関係をすることと、家族と一緒に里山散策をすることだけになりました。

酷暑で食欲もなくなり体重も落ちてしまった皆さん、「天高く犬肥ゆる秋」となりました。私たちにとってアウトドアの季節到来です、家族と一緒に外に出て心身ともに鍛えなおしましょう。Evergreen Dog Fieldでお待ちしております。